

記者発表票 (記者発表・資料配付)			
発表年月日	令和3年11月26日(金)	担当地方機関	丹波県民局 丹波農林振興事務所
電話番号・内線	0795-72-0500 (内線300) 0795-73-3793 (直通)	担当課	農政振興課
発表者	所長 東浦 実	事務担当者	課長 堀川 京子
解禁日時	○無○・有 (月 日 時解禁)		
同時発表先	○無○・有		
特記事項			

“丹波篠山 山の芋フェア” の開催

丹波地域の秋から冬を彩る丹波栗、丹波大納言小豆に引き続き、丹波篠山市産の山の芋の「産地」としての魅力を発信するため、11月20日から2月にかけて“丹波篠山 山の芋フェア”を開催しています。

山の芋の生産者や山の芋取扱店(飲食、購入)等と連携し、「産地」としての魅力を発信します。今回で4回目の開催となります。

(1) 期 間 11月20日(土)～2月6日(日)

(2) 場 所 丹波篠山市内のレストラン、直売所など42店舗

(3) 主 催 丹波篠山ブランド産品戦略会議(丹波篠山市農都政策課内)

※構成員：丹波篠山市、丹波農林振興事務所、丹波農業改良普及センター、
JA丹波ささやま

(4) 内 容 とろろ井やとろろそば・うどん、山の芋の一品料理など、粘りの強さが特長の山の芋を使った料理が食べられる店舗をリーフレットで紹介し、旬のおいしさを楽しんでいただきます。

(5) その他

アンケートにお答えいただくと20名の方に丹波篠山とろろご飯セットが当たるプレゼントキャンペーンを実施します。

【今年の提供メニュー例】



丹波篠山産の山の芋を使ったとろろそば



山の芋ばくだんランチ



山の芋を使った猪とろろ井

丹波篠山 山の芋



江戸時代の書物「篠山封疆志(ささやまほうきょうし)」の記述によると、丹波篠山山の芋は、約300年前から栽培され、丹波地域の名品と認識されていました。

丹波篠山の気候風土から生まれる粘りの強さは折り紙つきで、栄養価が高く、肉質は純白できめが細かく緻密です。高級贈答品としても人気があります。